

---

# 「俺と天使？」番外編・渡会夏樹の苦悩

榛名屋 忍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

「俺と天使？」 番外編・渡会夏樹の苦悩

### 【Nコード】

N7130R

### 【作者名】

榛名屋 忍

### 【あらすじ】

悠里に告白された夏樹は慎吾にそのことを聞かれて・・・

**（前書き）**

夏樹が悠里に告白された数日後の話です。

「なあ、渡会。菅原に告白されたって本当か？」

浩之さんが不在のため、俺が森村家へ招かれた日のことだった。

慎吾の部屋でおやつを食べていると、慎吾は唐突にその話を振ってきた。

「誰から聞いたんだよ」

「部長」

部長の竹内晶は噂好きで、面白いと感じたことはすぐに広めてしまふところがある。どうやら俺と悠里のことはネタにされているらしい。

「また部長か」

「今回は俺だけに話しておくって言ってたから、ネタにはされてないと思うぜ」

慎吾も瀬名に片思いしているときに噂を立てられたことがある。

その発信源もまた部長だった。

「ならいいけど。悠里が傷つくのは困るし」

「へえ、もう呼び捨てなの？」

慎吾に言われて、俺はそのことの重要性に気がついた。そこは冷静に言葉を返す。

「別に、そういうんじゃないから」

「はいはい。君は真面目な優等生で恋愛とは縁もなく暮らしてるんだろ」

慎吾は茶化しているが、俺は応じないことにした。

「勝手にしろ」

俺は用意されたケーキを無理やり口に運んだ。

「そんなに怒るなよ。冗談だよ」

「怒ってない」

その時、ケーキが喉に詰まってしまい、俺は咳き込んだ。

「ゴホ、ゴホ」

「ほらほら、言わんこっちゃない」

慎吾は俺の背中をさすった。これまでは学校で慎吾と同じクラスになることがあまり無かったため、時々家に招かれる程度で深い関わりは持つてこなかった。しかし、最近ではクラスでも話ができるようになって、距離が縮まってきている。

「ごめん」

俺は素直に謝ることができた。

「いいよ。変なこと聞いて悪かったな」

慎吾は俺の背中をさすりながら応えた。

「変なこと、じゃない。隠すことでもないし。事実だから」

「そうか」

「悠里から聞かされて、びっくりした。本当は女の子だったなんて、今もちよつと信じられない」

「俺も部長から聞いたときにはびっくりしたよ」

慎吾は俺に笑いかけた。

「でも、男気あるよな、菅原は。自分から告白するなんて」

「ああ。俺には出来ないかも」

「俺にも出来ないよ。現に出来なかったし」

慎吾は紅茶を一気に飲み干した。

「だから、菅原はすごいよ。渡会もちゃんと応えてやらないとな」

「ああ」

俺の声は沈んでいた。まだ気持ちの整理が付いていないのだ。

「不安か？」

慎吾は俺の気持ちを察知したらしい。

「俺には何もわからない」

「そっか。でも、菅原は渡会のことが好きなんだから、渡会らしくしてればいいと思うぜ」

慎吾は俺の肩を叩いた。

「らしく、か」

「それから、本当に好きになれない相手なら、ちゃんと振ってあげることだ」

慎吾は語気を強めた。

「告白を受けて仲良くして、でもお前に付き合う気がないとしたら、菅原はすごく傷つくだろ」

「そう、だな」

慎吾の言うことはもっともだ。中途半端な気持ちで付き合ってはいけない。

「お前さ、冷たそうに見えて結構優しいっていうか、そのせいで優柔不断なんだよ」

「はあ？　なんだよそれ」

「なんだかんだで俺はお前のことをずっと見てるんだぜ。そんな俺からのアドバイス」

「よくわかんねえよ」

俺は皿に盛りつけられたチョコレートに手を伸ばした。

「ま、ツンツンするな。菅原もきつと優しいお前の方が好きだって」  
慎吾の言うことは半分くらい意味不明だったが、俺はこの日気持ちを整理できた気がする。

「悠里、今度映画でも見に行かない？」

それは俺が踏み出す第一歩。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7130r/>

---

「俺と天使？」番外編・渡会夏樹の苦悩

2011年10月7日23時06分発行